

広報さらべつ Sarabetsu

Public Relations Sarabetsu

2019

9

vol.684



今月の主な内容

- ◆ **特集** 近未来技術と村づくり
- ◆ 功労者表彰式
- ◆ 村のわだい
- ◆ 村からのお知らせ
- ◆ 海と大地子どもふれあい交流

P 2 ~ 5

P 7

P 10 ~ 11

P 12 ~ 13

P 15

表紙の風景

9月1日、更別神社秋季祭典が開催。五穀豊穡や家内安全を願い、さらべつ三五四(みこし)会員や更別農業高校の生徒、本村で実習を行う酪農学園大学の学生が神輿を担いで更別市街を練り歩きました。

特集

近未来技術と村づくり

村は研究機関や企業などと連携し、近未来技術の活用に向けて取り組みを進めています。今月号では、この取り組みについて紹介します。



8月6日、ふるさと館で近未来技術等社会実装事業の公開実証テストが行われました。測量や農薬の散布を想定したドローン（小型無人飛行機）の飛行が実演され、会場を訪れた農業関係機関の担当者などの注目を集めました。

近未来技術等

社会実装事業とは

昨年、北海道・岩見沢市と共同で提案した事業が内閣府の「近未来技術等社会実装事業」に採択されました。2020年までに、ロボット無人トラクターの遠隔監視と、ドローンの自動航行による農薬の散布、センサーを用いて作物の生育状況などを取得するアプリケーションソフトの導入により、農作業の負担軽減と収益性の向上を目指す事業内容となっています。

稲作は岩見沢市、畑作は更別村で行い、北海道が国の各省庁と連携し、農林水産省をはじめとする関係省庁がそれぞれ現地の協議会に参加して、技術の実証実験を展開しています。これは、平成29年に申請を行った「国家戦略特区」の重要な分野の実現に向けた第一歩となるものです。

今年度は、近未来技術等社会実装事業で実証テストと情報インフラの整備に取り組むとともに、「スマート農業加速化実証プロジェクト」でGPSトラクターや収量コンバインなどを活用した各種試験の実施、従来の農業とのデータ比較などを実施していきます。

きっかけは熱中小学校事業

人材の育成や連携による地域の活性化を目的に、平成29年に開校した十勝さらべつ熱中小学校。キャンパス内にあるサテライトオフィスに、東京大学の平藤雅之特任教授が代表を務める研究機関「CREST（クレスト）」が入居しました。

クレストは、畑の土壌水分や湿度、気象条件、作物の生育状況など農業に関するあらゆる情報を収集して解析を行い、知識や経験を頼りにしていた農作物の栽培にAI（人工知能）やIoTなどの先端技術を導入しようとする研究を進めています。研究拠点を探す中で、日本有数の大規模農業を展開する本村で取り組むことがスマート農業の普及につながる。と考え、拠点の開設に至りました。



公開実証テストで解説する平藤教授



ドローンで散布した場所を示すソフト

クレストが本村に研究拠点を置くのと同時に、研究の進展を期待して、ドローンの販売企業やアプリケーションソフトの開発を目指す企業、圃場での研究に協力する農業者などが集まってきました。

村は、農業の将来を見据え、研究を進めやすい環境整備に協力するため、国家戦略特区の申請を行いました。ロボット無人トラクターによる公道走行や、ドローンによる管制システム（自動航行）の実証実験などを柱に、航空法、電波法など各種規制の緩和による研究実証の提案をしたところです。

現在、国は国家戦略特区制度を見直し、生活の各分野での課題を先端技術により解消させ未来社会を先行して実現する「スーパースィー」構想を推進しており、村も検討を進めています。

ポイント解説

●スマート農業

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化を図り高品質な生産を実現するための新たな農業の形です。

農業の現場では、急速な高齢化に伴う担い手不足と農業の大規模化が進んでいます。スマート農業を活用することで、農作業の負担軽減につながり、新規就農者・後継者の確保や栽培技術の継承などが期待されています。

●5G

第5次移动通信システムを指し、現在の通信システム（4G）と比較して、超高速（現在の100倍の通信速度）、超低遅延（現在の10分の1の遅延）、多数同時接続（現在の10倍の接続数）が可能になるといわれています。

●IoT

「モノのインターネット」といわれる仕組みです。身の回りのありとあらゆるものがネットワークに接続されることで、取り付けられているセンサーなどが収集したデータに基づく自動制御が可能となり、効率化や省力化が期待されています。

●近未来技術等社会実装事業

地方創生の推進には、AIやIoT、自動運転、ドローンといった近未来技術や科学技術研究の成果など、最新の知見を活用して、産業の生産性向上や公共交通の維持・改善などさまざまな課題を解決していくことが重要です。

近未来技術の活用による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的かつ先進性と横展開の可能性などが優れた提案について、事業に関係する省庁が、各種交付金や補助金などの支援に加えて、現地支援体制（地域実装協議会）の構築など総合的な支援を行うものです。

●更別村スマート産業

イノベーション協議会

北海道・岩見沢市と共同で提案した事業が近未来技術等社会実装事業に採択されたことを受け、昨年10月に発足しました。協議会は平藤教授が会長を務め、大学教授や研究者、JAなどで構成。村が事務局を担っています。

2020年までの事業で、無人トラクターの公道走行や、ドローンの自動航行による農薬散布の実現を目指して、研究や実証実験に取り組んでいます。

スマート農業の展開

インタビュー

おかだまさひろ
岡田昌宏さん（昭和区）

近未来技術等社会実装事業の実験圃場として、スマート農業の研究に取り組む岡田さんにお話を聞きました。



私 の農業は、ばれいしょの育種が基礎になっています。大学では、ばれいしょの栽培の研究として早期培土技術の研究に取り組み、農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）には、インターンシップをして関わることになりました。卒業後は食料品関係の企業に務め、種芋の販売や栽培の指導・普及に携わりました。また、小売業の方と関わることも多く、食料品関係の流通や、全国各地の消費地や農業について学ぶことができました。退職後は、農研機構や大学院で研究を行い、家業の農業に携わっています。

ド ローンが世の中に出始めたとき、もともと電子機器に関心があり、スマート農業への活用の研究をやってみようとなりました。これまでの研究を通して、企業や研究者が集まって最先端を常に考えることができる場所を作りたいと考えていました。また、農家の規模に合った研究拠点があれば実証しながら研究でき、農業の発展につながることも感じていました。将来的に既存のトラクターをロボット化するために、今の技術でどこまでできるのか挑戦しています。

ス マート農業を考えたとき、栽培技術や作物の特性を考えた上で、どう対処したら育つかが大切

です。コンピュータに圃場の温度などの情報を取得し、画像で植物の状態を確認。それを基にドローンを飛ばしてマップを作ることで、圃場に合わせた品種や肥料、病気の予防で撒く農薬を選びやすくなります。畑の中を1枚で考えず、収量が上がらないところにどのように対処するのかというところです。スマート農業の実証実験の狙いは、ハイリターンを期待するものではなくて、規格を満たす作物の収量を増やすことが収入の底上げにつながる「農業の最適化」を目指しています。

本 村の1戸あたりの農地面積は、家族による経営を考えるとそろそろ限界が見えてきていると感じています。今後全国的に人が足りなくなつたときにスマート農業を活用すると、畑を見に行かなくても自分の手元である程度整理された状態で見て考えることができます。そうすると負担が減り、広大な農地でも少ない人数で農業ができるようになると考えています。

本村では、企業や研究者などと連携しながら実証実験を行っています。十勝さらべつ熱中小学校の取り組みを通して研究拠点を求めている方たちと手を組み、研究が進むことで、関心を持った研究者をさらに呼び込む流れができています。人と人とのつながりにより本村の「関係人口」が増加し、さまざまな連携が生まれています。

実験では作物の生育データを蓄積してAIが判断し、トラクターやドローンが次の作業を行います。その検証を行うにも大容量を高速で転送できる5G回線が必要です。また、無人トラクターの公道走行やドローンの自動航行などを行うために規制緩和を求めて国家戦略特区の申請を行っています。

今後の村づくりで目指しているのは「農業のスマート化」だけではありません。国家戦略特区に代わるスーパーシティ構想では、交通や教育、医療など全ての問題に結びつきます。例えば、高齢者の移動手段。端末でデマンド交通を呼ぶと自動運転で病院や買い物など目的地に連れて行ってくれて、用事を済ませた後は自宅まで送り届けてくれる。また、義務教育化されるプログラミング教育は、自分の畑に合った土質や傾斜などをコンピュータに入力・指示することで、トラクターやドローンな

持続可能な村づくり

更別村の未来のために



プログラミングを体験する子どもたち

どを動かす、そのための学習ともいえます。大規模農業を維持していくためには、農作業の省力化が必要であり、培われてきた知識や経験を数値化しAIを活用します。とはいってもAIが全てを置き換えるわけではありません。過去の集積とその分析はAIが行い、その結果を未来にどのように活用して課題を解決するかは人間にしかできません。

これからの時代、人口減少や少子高齢化など避けては通れない課題に對して、何もせずに豊かで住み続けたい村を維持することはできません。社会の変化に臨機応変に対応していく必要があります。将来を担う子どもたちのために、また、高齢者が安心して年を重ね「自分が必要とされている」と感じられる村にするために、近未来技術の活用を図り、ありとあらゆる分野に横断的に取り組みます。

防災情報を

「警戒レベル」でお伝えします

平成31年3月に改定された「避難勧告等に関するガイドライン（内閣府）」では、住民が「自らの命は自らが守る」意識を持って避難行動がとれるように、わかりやすい防災情報を提供することが明記されました。

村は、水害などの災害が発生したときに、みなさんへお知らせする防災情報について5段階の「警戒レベル」で避難のタイミングをお伝えします。警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）や警戒レベル4（避難勧告）を発令したときは、速やかに避難してください。警戒レベル5では既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

大雨・洪水の警報や氾濫危険情報などの防災気象情報を参考にしながら、近所のみなさんで声を掛け合って、安全・確実な避難行動をとってください。

●問い合わせ

役場総務課庶務係

☎ 52・2111

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 (村が発令)
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所へ避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） (村が発令)
警戒レベル 3 高齢者などは避難	避難に時間を要する方（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の方は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (村が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。	注意報 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

功 労 者 表 彰 式

開村記念日にあたる9月1日、村の自治や安全・安心な村づくりなどにご尽力とご貢献をいただいた方々の功績をたたえる村功労者表彰式が、社会福祉センターで行われました。

式典では、名誉村民の林清さんや高木修一村議会議長をはじめ多くの来賓が見守る中、西山村長が受章者へ表彰状と記念品を贈り「元号が平成から令和に変わり、新たな時代を迎えました。受賞者のみなさんが郷土を愛し、本村の発展のために寄与されたことに敬意を表し、感謝申し上げます」とあいさつ。

受章者を代表して梶浦さんが「栄誉ある表彰を受け、深く感謝します。今回の受章を契機に、村の発展のために微力ながら貢献できればと考えております」と受章のお礼を述べられました。

自治功労者



塩田 辰則さん
(更別区)

更別村固定資産評価審査委員会委員として多年にわたる功績

社会功労者



森田 弘二さん
(本町)

更別消防団員として多年にわたる功績

産業功労者



増田 和人さん
(本町)

更別村商工会役員として多年にわたる功績

産業功労者



漆川 雅則さん
(緑町)

更別村観光協会役員として多年にわたる功績

教育文化功労者



梶浦加代子さん
(北更別区)

更別村教育委員会委員として多年にわたる功績

感謝状

更別村建設業協会
株式会社山内組
株式会社ヤマジョウ
子どもたちの教育目的への多額の寄付



10/1 地方税共通納税システムがスタートします！

地方税共通納税システムとは、全ての都道府県や市区町村へ自宅や職場のパソコンから電子納税ができる仕組みです。10月1日（火）から、地方税ポータルシステム（eLTAx）を利用して、複数の自治体へ一括して電子納税ができるようになります。

●納税できる税金の種類

- ・法人都道府県民税
- ・法人事業税
- ・地方法人特別税
- ・法人市町村民税
- ・事業所税
- ・個人住民税

（特別徴収分・退職所得分のみ）

※更別村で納税できる税金は、法人村民税、村・道民税（特別徴収分・退職所得分のみ）です。

●ご利用の流れ

①利用届出

eLTAx (<http://www.eltax.jp/>) から利用届出（新規）を提出してください。提出済みの方は不要です。

②電子申告

PCデスクなどのeLTAx対応ソフトウェアで申告書を作成・送信してください。

③納付情報入力

納付する税金の種類や納付先などの情報入力、またはCSVファイルの取り込みを行います。

④納付方法選択

インターネットバンキングまたはダイレクト納付を選択できます。

⑤納税

取引金融機関のネットバンキングや事前に登録した口座から、即時または指定した日に引落としされます。

※口座の事前登録は、9月13日（金）の18時00分までです。事前登録を行わない場合でも、9月24日（火）以降にPCデスクから口座登録を行えばダイレクト納付を利用できます。ただし、金融機関の審査に最大1か月程度要する場合がありますので、ご注意ください。

●問い合わせ

eLTAxヘルプデスク

☎ 0570・081459

つながらない場合は

☎ 03・5500・7010

役場住民生活課住民税係

☎ 52・2112

9月は「世界アルツハイマー月間」です

高齢になれば体力が低下するのと同様に、脳の機能も低下します。認知症は長生きをすれば発症する可能性が高く、その中で多くを占めているのが、アルツハイマー型認知症です。認知症患者は日本だけではなく世界中で増加しており、2015年の国際アルツハイマー病協会の報告では「世界の認知症患者数は2050年に1億3,200万人に達し、現在4,680万人の3倍になる可能性がある」と発表され、これは「3秒に1人が発症する」計算になります。1994年、国際アルツハイマー病協会と世界保健機関(WHO)は共同で、9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、9月を「世界アルツハイマー月間」としました。9月は世界中で認知症について理解を深めるための啓発活動が行われます。そこで今回は、認知症についての説明と相談窓口を紹介します。

認知症とは？

さまざまな原因で脳の細胞が死ぬ、または働きが悪くなることによって、記憶・判断力の障害が起こり生活(社会生活・対人関係)に支障が出ている状態をいいます。しかし、決して「何もできなくなる、何もわからなくなる」病気ではありません。生活に支障が出ている部分に手助けがあれば、自宅で生活が送れます。

理解力・判断力の低下

- ◆新しいことが覚えられない
- ◆考えるスピードが遅くなる



見当識障害

- ◆日にちや時間がわからなくなる
- ◆数分前にしていたことを思い出せない

記憶障害

- ◆同じことを何度も言う、聞く
- ◆家族の顔がわからなくなる

実行機能障害

- ◆物事の段取りが立てられない(料理ができなくなるなど)

予防・早期発見・早期治療が大事

他の病気と同様に予防・早期発見・早期治療が大切です。運動不足・塩分の摂り過ぎ・喫煙などが深く関わっているため、若いときからの生活習慣病予防が大切です。

症状が軽い段階で受診をすれば、進行を遅らせたり、場合によっては改善することができます。自分自身や家族、友人、ご近所の方など、上記の症状に気づいたらかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう。

地域包括支援センターとは？

高齢者やその家族が、住み慣れた更別村でいつまでも自分らしく安心して暮らせるよう、健康や生活など、あらゆる面からサポートするための「総合相談窓口」です。悩み・疑問など、お気軽にご相談ください。

- 場所 福祉の里総合センター
- 時間 平日8時30分～17時15分(12時00分～13時00分は昼休み)
- 職員 竹村 友美 保健師
佐々木 ひとみ 社会福祉士

11月号では「若年性認知症」について掲載します。



- 問い合わせ
地域包括支援センター(役場保健福祉課包括支援係)
☎ 53 - 3000

お試し暮らしとは？

村では、平成19年度よりお試し暮らし短期体験住宅を整備し、移住希望者が一定期間更別村で生活体験ができる場所を提供しています。昨年度までに50組121名が利用しています。

6年ぶりにお世話になりました。前回と比べて更別村の変化を感じました。特に、まちが静かになってきたことですが、ここにも人口減少の影響があるのでしょうか。移住体験者としては少々気になるところです。

お試し体験住宅が少しリフォームされ、使いやすくなっていたことはありがたかったです。一方で、北海道の夏も年々暑くなり、日中家に居られないほど暑い日がありました。しかし、北海道の大自然や澄んだ空気などが素晴らしく感じられて大好きです。

■お名前 勝部 博昭さんご夫妻
■お住まい 東京都調布市
■利用期間 7月2日～7月31日

■お名前 中尾 英敏さんご夫妻
■お住まい 宮城県延岡市
■利用期間 7月17日～8月13日

更別村移住・定住対策事業
お試し暮らしを体験された方に感想をお聞きしました

北海道らしい景色の中で体験したいと考え、更別村を選びました。実際に生活すると静かで広大な景色を見ることができ、涼しさを求めて来た甲斐がありました。無料の高速道路があり移動が便利に感じたほか、道の駅では新鮮な野菜が販売されていました。散歩したり公共施設を利用したときに話した住民の方々は、住みやすく暮らしてよかったと話していました。また、福祉関係の施設や村営住宅が多く見られ、高齢者への優しさが感じられる村だと思いました。

高齢になり自動車を手放したとき、生活必需品をどのように調達するか不安があります。徒歩や公共交通機関で買い物ができればありがたいと、生活用品の購入と配達の仕事があれば安心して移住できると感じました。

問い合わせ

役場企画政策課地域開発係

☎ 52 - 2114

日本赤十字社から博愛号が贈られました

7月31日、日本赤十字社北海道支部から村(日本赤十字社更別村分区)へ、赤十字災害救援車「博愛号」が寄贈されました。

前は平成18年度に寄贈され、災害や事故などの緊急を要する事態の救援活動や赤十字事業などに活用してきましたが、経年による劣化のため改めて配置されることになりました。

これからも赤十字活動や献血の実施にみなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。



10月1日より幼稚園・保育園・認定こども園の利用料が無償化されます

●対象となる利用料

- ①幼稚園や保育園、認定こども園を利用する3歳から5歳までの子どもの利用料
- ②生活保護受給世帯や住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子どもの利用料

●対象となる施設

村内全ての幼稚園、保育園、認定こども園

●その他

対象となる子どもの保護者へ通知書を発送します。詳細については、お問い合わせください。

●問い合わせ

役場子育て応援課
子育て応援係

☎ 53 - 3700





8/9 カラフルな作品がいっぱい
夢ん子工作教室を開催

夏休みの工作や自由研究に役立ててもらおうと、夏休み夢ん子工作教室を開催し、小学生と保護者 28 名が参加しました。

今回の工作教室では、ガラスを使ってキーホルダーやストラップを作りました。透明なガラス板にさまざまな色の付いたガラスやビーズをのり付けして、色とりどりの作品に。製作した作品は、講師が仕上げた後に届けられるとのことで、子どもたちは出来上がりが待ち遠しそうな様子でした。



8/8 彩り鮮やかな野菜をたっぷりと
親子料理教室を開催

食育の機会を増やそうと、福祉の里総合センターで親子料理教室を開催しました。

親子 21 名が参加し、夏野菜の彩りピザやコールスローサラダなど 4 品の料理に挑戦。子どもたちは、野菜を切ったりピザの生地をこねたり目を輝かせながら取り組んでいました。

焼き上がったピザを美味しくそうにほおぼる子どもたちを見て、お母さん方からは「苦手にしている野菜を食べてくれてよかったです」との声が聞かれました。



8/22 人生 100 年時代を見据えて
在宅医療の研修会が開催

今年度始まった訪問歯科診療を知ってもらおうと、村在宅医療・介護連携推進協議会主催の研修会が老人保健福祉センターで開催されました。

村内の医療・介護職の方を対象に、歯科診療所を管理運営する医療法人秀和会の柁安秀樹理事長が「人生 100 年時代を見据えた歯科医療とは」と題して講演。患者が自分らしく人生を送れるように、歯を直すだけでなく、美味しく食べることの支援について、家庭医や訪問看護と連携した取り組みが紹介されました。



8/18 夏のひとときをにぎやかに
福祉施設で夏祭りが開催

コムニの里さらべつで夏祭りが開催され、施設の利用者や家族、地域の方が訪れ、大いに盛り上がりました。

当日は、アトラクションとしてさらべつかしわ太鼓保存会やエイサー太鼓ちゅうらかじによる太鼓の演奏、Tokachi 紅によるよさこいソーランの演舞、職員のパフォーマンスなど盛りだくさんのスケジュール。焼き鳥やたこ焼きなど食べ物の出店もあり、終始大盛況のお祭りとなりました。



8 月 14 日、村商工会が主催する 54 回目の「どんぐり村の盆踊り」が開催されました。雨天により屋内開催が続ぎ、屋外での盆踊りは 3 年ぶり。

大人の浴衣踊りでは、おそろいの法被やユニークな仮装を身にまとった踊り手たちが、生の歌と太鼓演奏に合わせて会場を大いに盛り上げました。

役場前には出店が並び、お盆休みで帰省した友人やお孫さんと楽しく過ごす方が多く見られました。また、花火大会も行われ、夜空を彩る花火に会場からは歓声が上がっていました。



7/30 これからも毎日の元気のために
ラジオ体操の優良団体表彰

村の生活支援体制整備事業の協議体「ささえ愛さらべつ」がラジオ体操優良団体等表彰を受け、かんぼ生命保険帯広支店の小松達也業務部長から表彰状と記念品が贈られました。ささえ愛さらべつのメンバーの発案で始まったラジオ体操は、村内 5 行政区で行われています。事務局を担う村社会福祉協議会の古山うめ会長は「お互いを見守り、会話のきっかけになっています。今後の活動への張り合いになります」と感想を話してくれました。



7/29 夏のレジャーを楽しむ前に確認を
子ども防災教室を開催

とかち広域消防事務組合更別消防署では、子どもたちに防災への関心を深めてもらおうと、毎年夏休みに各行政区を回り防災教室を開催しています。

この日は緑町公園で開催。ラジオ体操に参加した小学生や住民のみなさんが参加しました。消防職員から、バーベキューなどを楽しむときに火が衣服に燃え移ってしまったときの対処法や、消火器の使い方が実演を交えて解説され、子どもも大人も一緒に becoming 万が一への備えを確認していました。

※応募資格は、18歳以上21歳未満で、高卒または高専3年次修了（見込含）の方
🗨️ 自衛隊帯広募集案内所
☎️ 23・8718

防衛医科大学校看護学科学生 (自衛官候補看護学生)	防衛医科大学校医学科学生	防衛大学校学生 (一般)	募集項目
9月30日(月)まで			受付期間
1次 10月19日(土)	1次 10月26日(土) 27日(日)	1次 11月9日(土) 10日(日)	試験日
2次 11月30日(土) 12月1日(日)	2次 12月11日(水) ～13日(金)	2次 12月10日(火) ～14日(土)	

自衛官募集のお知らせ

募集

村からのお知らせ

Information from the Village

各種アイコンの説明

📢 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📖 = 国民年金

📅 とき 📍 場所 🎯 対象 💰 料金

📋 定員 📝 申し込み 🗨️ 問い合わせ

☎️ 電話番号 📠 ファクス 📧 メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。

※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。



お知らせ

秋のヒグマ注意特別月間

9月7日(土)から10月31日(木)まで、秋のヒグマ注意特別月間として注意を呼びかけています。

本年度も各地でクマによる死傷事故が発生しています。クマは一般的に冬眠を控えた秋に餌を求めて、より活発に活動するといわれています。

入山するときは「1人で入らず複数人で行動し、声や音をだし」、「食べ物やこみは必ず持ち帰る」、「クマのフンや足跡などを見たらすぐ引き返す」などの対策をするとともに、事前にクマの出没情報を確認しましょう。

一番大切なことはクマに出会わないことです。十分に注意してください。

🗨️ 役場産業課林務係
☎️ 52・2115

無料調停相談会を

開催します

トラブルや悩みを話し合いにより解決する調停手続き・利用方法について、無料でご相談に応じます。相談内容などの秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

・平成31年4月2日以降に年金を受給し始めた方
年金の請求手続きと併せて年金事務所または市区町村で請求手続きをしてください。

日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください。日本年金機構や厚生労働省から、口座番号をお聞きしたり手数料などの金銭を求めることはありません。

🗨️ 給付金専用ダイヤル
☎️ 0570・05・4092

税金

消費税・地方消費税の税率は10%へ

10月1日に消費税・地方消費税の税率が10%に引き上げられます。10%のうち2.2%は地方消費税(地方税)です。

日本では高齢化が進み、社会保障の費用は増え続けています。みんなが安心できる社会にするためには、安定した財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぐとともに、全世代型へ転換していく必要があります。そのためには10%への税率の引き上げが必要です。

引き上げ分は、消費税・地方消費税ともに、全世代を対象とする社会保障の充実と安定のた

📅 10月6日(日)

10時00分～16時00分

📍 所とかちプラザ 1階大会議室
帯広市西4条南13丁目

📄 無料

● 相談内容

夫婦関係・親子関係・相続・金銭・交通事故・土地建物など
※裁判所で係争中の事件の相談は除きます。

● 相談担当者

家事・民事各調停委員
その他
事前予約は必要ありません。
当日、直接会場にお越しください。

🗨️ 帯広調停協会(釧路地方・家庭裁判所帯広支部内)
☎️ 23・5141

忘れちゃいけない

「自賠責」

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、平成30年の事故発生件数は約43万件、死傷者数は約53万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっています。

交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらします。

自賠責保険・共済は、全てのクルマ・バイク1台ごとに加わることが義務付けられており、加害者の賠償責任を担保することで、被害者の基本的な賠償を保証す

る制度であり、被害者の救済を目的としています。

一人ひとりが、より一層自賠責制度の役割や重要性、保険金・共済金の支払いの仕組みなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

🗨️ 北海道運輸局帯広運輸支局
企画輸送・監査担当
☎️ 33・3286

自動車点検整備推進 運動強化月間

自動車使用者の保守管理意識の高揚と適切な点検整備の遵守を図り、自動車の不具合による交通事故や公害の防止を目的に、自動車点検整備推進運動を実施しています。

自動車は使用期間や走行距離に応じて故障や劣化が生じることから、安全に使用するために、自動車使用者が責任を持って適切に点検・整備を行う必要があります。この機会に点検・整備を行い、自動車を良好な状態に保ちましょう。

🗨️ 北海道運輸局帯広運輸支局
検査・整備・保安担当
☎️ 33・3282



方には、レジや受発注・請求書管理システムの導入・改修について補助金を設けるなどの支援を行っています。ぜひご利用ください。

制度についての詳細は「軽減税率 国税庁」、補助金についての詳細は「軽減税率対策補助金」で検索してください。

🗨️ 受付時間は平日9時00分から17時00分まで
【制度について】
消費税軽減税率相談センター
☎️ 0120・205553
※ナビダイヤル
☎️ 0570・030456
(通話料がかかります)
【補助金について】
軽減税率対策補助金事務局
☎️ 0120・398111

村税納期限のお知らせ

固定資産税第2期、国民健康保険税第3期納期限は9月30日(月)です。

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

🗨️ 役場住民生活課
資産税係・住民税係
☎️ 52・2112

更別村と友好姉妹都市の宮城県東松島市の児童が交互にお互いのまちを訪問交流する子ども交流事業として平成3年に始められた『海と大地 子どもふれあい交流』は今年で29回目。昨年は更別村で受け入れを行ったた

め、今年は8月2日から5日間、村内の小学5・6年生合わせて21名が東松島市を訪れ、さまざまな交流を行いました。昨年、更別村で絆を深めた6年生の児童たちは1年ぶりの再会を喜び合

い、5年生の児童たちも6年生につられるようにすぐ友達を作ることができ、楽しみにしていた交流がスタート。今年はホームステイ交流が8年ぶりに復活するなど、貴重な体験をした子どもたち。お互いの絆がより深まる旅になりました。

未来につながる子ども交流 友情の絆これからもずっと



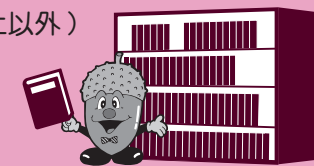
ひと夏の出会いは一生の思い出に

海と大地 子どもふれあい交流

更別村農村環境改善センター図書室だより

本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分
休館日 火曜日および祝祭日(日・月・土以外)
住所 更別村字更別南2線96番地11
農村環境改善センター内
電話 52-3171



お知らせ

◆写真絵本作家 小寺卓矢さんの講演会とワークショップを開催!

撮った写真でオリジナルの写真絵本を作ってみませんか? 詳しくはイベントのチラシをご覧ください。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。

- 日時 10月12日(土) 10時00分～15時00分(雨天決行)
- 場所 農村環境改善センター 視聴覚室
- 対象 幼児から大人まで(幼児・小学生は保護者同伴)
- 定員 20名(申込が必要です。先着順)
- 申込期限 9月30日(月)(定員になり次第受付終了)
- 参加料 無料(デジタルカメラなどを持参してください)
- 問い合わせ 教育委員会事務局社会教育係 ☎52-3171



今月の展示

- 一般書コーナー
『おじいちゃんおばあちゃんの本』
『気象の本』
- 児童書コーナー
『おつきみのえほん』



今月の読みきかせ

9月21日(土) 11時00分～11時30分

- 『Seven Blind Mice』
(英語で読みきかせをします)
- 『あなのなかには…』



新着図書案内



今月のおすすめ本

『元号読本』
所 功 ほか/編著
元号の改元理由や使用期間、勘申者などさまざまな情報を網羅した一冊。

えほん

あおいちきゅうの (エラ・いちにち)	はたけのこちそう (すずきもも)	すいぞくかん (なかのともみ)	にん・にん・じんの (うえだ しげこ)	にん・にん・じんの (中川 ひろたか)	なまけものパーティ (齋藤 慎)
--------------------	------------------	-----------------	---------------------	---------------------	------------------

児童文学・学習書ほか

国谷裕子と考えるSDGsがわかる本 (国谷 裕子)	恐竜のなぞにせまる (藤原 慎一)	フワフワ探検シリーズ (トム・クロジ・コール)	ドッグトレーナーになりたいいきみへ (鈴木 博房)
---------------------------	-------------------	-------------------------	---------------------------

文学・一般書

伝え方大全 (カーマイン・ガロ)	ジャパン・ストーリー (ジェラルド・シ・昭和平成の日本政治見聞録 (カーティス)	ヘルパーが支えた老老介護24年 (谷口 政春)	70歳 医師の働き方を考えた鎌田式「フツ」(二) (鎌田 實)	なぜ、男子は突然、草食化したのか (本川 裕)	すごい90歳 (奥村 正子)	黒の服飾史 (徳井 淑子)	ひよこ太陽 (田中 慎弥)	「自分を苦しめる嫌なこと」から、うまく逃げる方法 (大嶋 信頼)	笑え、シャイロック (中山 七里)	大人だからこそ忘れないでほしい45のこと (齋藤 孝)	美しき愚かものたちのタフロー (原田 マハ)	旅は道づれきりぎり舞い (諸田 玲子)	生きながらえる術 (鷲田 清一)
------------------	--	-------------------------	---------------------------------	-------------------------	----------------	---------------	---------------	----------------------------------	-------------------	-----------------------------	------------------------	---------------------	------------------

更別農業高校 ニュース

全道技術競技大会に参加して

3年 戸田 風香

8月1日に岩見沢農業高校で行われた全道技術競技大会に参加しました。私は3回目の出場です、今までは入賞でございまして、悔しい思いをしていたので最後こそは最優秀賞をとりたいたと勉強をしました。今年は14名が参加し、5名が入賞しました。放課後や夏休みを使い、各自で調べ学習や過去問を解くなど自分なりの方法で勉強を進めていきました。その成果を発揮することができ、3名が全国大会に出場します。そこでも入賞できるように準備を始めていきます。

1年 氏家友太郎

私は、農業鑑定競技の農業分野で参加しました。大会前に夏休みの学校で作物の種類や病気、農業機械などについて学習したことを生かし挑みました。競技終了後の自己採点では、入賞は困難かと落胆しましたが、無事優秀賞をとることができました。しっかりと成果を発揮することができよかったです。この大会での経験を生かして、全国大会でも結果を出せるように頑張ります。

1年 近藤さくら

私は、家畜審査競技（乳牛の部）に参加しました。事前勉強会では、私を含めた3人で最優秀賞を目指して沢山勉強しました。共進会で活躍している農家さんで直接講義を受け、搾乳ロボットなど最新の農業機械を見る機会もいただき、大変に勉強になりました。本当にありがとうございました。

初めての全道技術大会は緊張もしましたが、とても楽しかったです。当日は気温が高く、とても暑かったため、結果を待つ時間は辛かったですが、優秀賞をこれとても嬉しかったです。来年こそ最優秀賞をとれるように頑張ります。



令和2年

更別村成人式のお知らせ

●日時

令和2年1月12日（日） 10時00分

※遠方から帰省する方のため「成人の日」前日に開催しています。

●場所

社会福祉センター

●対象者

平成11年4月2日～平成12年4月1日に生まれた方

※11月に開催案内を郵送する予定です。

●問い合わせ

教育委員会事務局社会教育係

☎ 52・3171



秋のすずらん無料法律相談を開催します

日頃、弁護士に相談したくてもなかなか機会がないという方や、ちょっと敷居が高くて相談できないという方もお気軽に相談ください。

●日時

10月16日（水） 13時30分～16時30分

●場所

社会福祉センター

●その他

事前に電話予約をお願いします。
相談時間は30分です。

●予約・問い合わせ

役場総務課庶務係

☎ 52・2111

熱 中小学校の生徒が清掃ボランティアを実施

7月27日、地域創造複合施設（十勝さらべつ熱中小学校）で、生徒のみなさんによるボランティア活動として、校舎の床などの清掃が行われました。

この活動は、第1期から熱中小学校に通う加藤舞さん（帯広市）が「日頃使っている校舎で自分たちができることをしよう」と生徒に呼びかけて実現しました。加藤さんは建築関係の仕事をしており「校舎に使われている木材は手入れをしないと乾燥が進み、ひび割れやすき間の原因になる」とのことから、雑巾で油分を染み込ませることを提案。同じく生徒で、自家製の亜麻仁油の製造に取り組む小谷広一さん（協和区）から、製造工程で規格外となった油が提供されました。

当日は生徒約20名が、雑巾を片手に床や柱、天井の梁といった木部の雑巾がけ作業に汗を流しました。加藤さんは「みなさんが協力してくれて本当に感謝しています。今後も定期的に続けていきたいです」と話してくれました。



子どもとの関わり方を考える研修会を開催

8月18日、白石友柄さん（NPO教育支援協会北海道専務理事）と宮島衣瑛さん（株式会社Innovation Power CEO）を講師に迎えた「更別子どもの学びボランティア育成研修会」が、地域創造複合施設（十勝さらべつ熱中小学校）で開催されました。

午前中の講義では「地域で作るナナメの関係」と題し、子どもたちとの接し方について、積極的な態度で相手を受け入れて理解を示し信頼関係を構築することや、感情面のサポートや助言をしたり良い見本を見せることで模範となるような存在になって接することが重要と解説されました。午後からは、プログラミングに関する講義や全世代で遊ぶことができるグループゲームを考えるワークショップが行われました。研修会に参加したみなさんは、子どもたちとの放課後活動や義務化されるプログラミング教育について理解を深めている様子でした。



letter from Takeshi

村長室 だより

NO.44

多くの意見・要望を村政に！



「令和」新時代「Society5.0」への挑戦
「骨太の方針」具現化への道」

「Society5.0」は、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く第5の社会を示す概念です。具体的には、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）といった最先端技術を積極的に活用し、農作業の自動化やドローンによる荷物配送、自動運転車による移動が可能となります。

政府は、少子高齢化や地方の過疎化などに伴う社会の課題がデジタル化で解決できる部分が多いと判断し、経済財政運営と改革の基本方針を「骨太の方針」とし、成長戦略を閣議決定しました。

スマートシティをまちづくりの基本に据え、誰もが便利で豊かな生活を！

安倍首相は、経済財政諮問会議と未来投資会議の合同会議で「Society5.0の実現に力を尽くし、経済社会の構造改革を一層強力に進めていく」と強調されました。また、地方創生の分野では、自治体が地域の課題解決に主体的に取り組む、民間のノウハウを活用することが活性化のカギになる

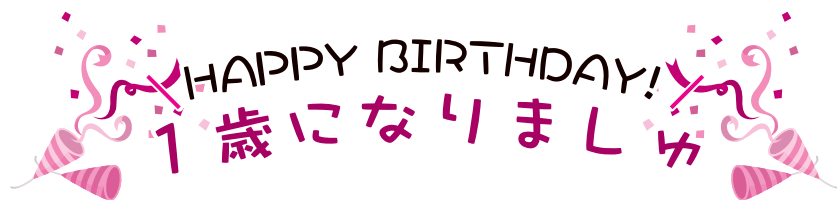
～子どもからお年寄りまで
笑顔と笑い声があふれ、
一人ひとりが輝く村～

とされ、地方への新たな人の流れを創出し特定の地域に継続的に関わる「関係人口」を増加させることや、2020年度からの5か年計画「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向けて、これまでの事業検証を行い、具体的な成果を目指して取り組む自治体への支援を強化し、広域連携事業やスマートシティ推進に積極的な自治体への地方財政措置の拡充を検討する方針を示しています。

更別村スーパーシティ（スマートシティ）構想で行政課題の解決を！

更別村スーパーシティ構想とは、最先端技術を活用する「Society5.0」の実現により、未来社会を先行実現する住民ファーストのまちづくりを進める構想です。近未来技術等実装事業、スマート農業加速化事業、ICTを活用した移住・定住事業、農村市街地活性化プログラミング事業、農村漁村振興農泊事業、プログラミング（ICTクラブ）事業、熱中小学校事業、CCRC事業など、関係機関との連携事業の推進を核に、第6期更別村総合計画に登載した今後10年間の到達目標の達成と施策の完全実施を目指します。

そのためには、①領域を超えたデータ連携基盤の構築とデータの適切な管理、②高速通信基盤（5G）・センサーを埋め込んだインフラ整備、③住民ネットワーク・コミュニティの構築、④技術実装できる企業との連携などが不可欠であり、白地から未来都市を作るのではなく、積み重ねた実績をもとに、豊かで便利な村を作っていきたいと考えています。



山本 やまもと

愛華 あいか

平成30年9月22日生
北更別区

ちゃん

遊ぶの大好き！お喋り大好き！いつも元気いっぱいな愛華です。

これからたくさん遊んで、笑って、元気にすくすく成長してね。

和也・紗由里



八木 やまぎ

寛太 かんた

平成30年9月6日生
本町

北海道が大変な状況のなか産まれました。

兄ちゃんと遊ぶの大好き。たまに怒られてもすぐに仲直りして楽しく遊んでいます。これからもノビノビと大きくなあれ。

俊宏・玲

戸籍の窓口

お悔み申し上げます

森 田 隆 一 さん（北更別区）92 歳
佐 藤 敏 子 さん（南更別区）81 歳
井 脇 富水子 さん（勢 雄 区）81 歳
今 井 よしみ さん（緑 町）64 歳

地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

431 日（8 月 31 日現在）

■地域安全運動のお知らせ

『秋の全国交通安全運動』のお知らせ

9 月 21 日（土）から 30 日（月）まで、秋の全国交通安全運動が実施されます。

日没時間が早くなり、交通事故が起きやすくなります。運転手のみなさんは早めのライト点灯を、歩行者のみなさんは反射材用具などを身につけ、交通安全に努めましょう。

『さらべつプレミアム付商品券』購入希望者の受付を開始します

消費税率の引き上げにより低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するため、下記の対象者に対して「さらべつプレミアム付商品券」を販売します。商品券は、村内約 60 事業所で使用可能です。購入を希望される対象者のうち、①に該当する方は、12 月 30 日（月）までに役場保健福祉課で申請手続きをお願いします。

◆販売対象者

- ①令和元年度村民税非課税者
（基準日：平成 31 年 1 月 1 日）
- ※村民税課税者と同一生計の配偶者、扶養親族、生活保護被保護者などを除きます。
- ※村から購入案内文書が届いた方や、購入案内文書が届いていない方で、対象になると考えられる購入希望者は、申請書を提出する必要があります。
- ②3 歳未満の子ども（平成 28 年 4 月 2 日～令和元年 9 月 30 日生まれ）がいる世帯の世帯主
- ※9 月中旬以降、随時購入引換券を発行します。

◆さらべつプレミアム付商品券の概要

- ・発行単位、購入上限、プレミアム率
500 円券の 10 枚綴り（5,000 円分）を 1 セット 4,000 円で販売。1 人 5 セットまで購入可能。プレミアムは 1 セット 1,000 円（20％）。
- ・商品券販売期間
10 月 1 日（火）～令和 2 年 1 月 31 日（金）
- ・商品券使用可能期間
10 月 1 日（火）～令和 2 年 2 月 29 日（土）

●問い合わせ

役場保健福祉課福祉係 ☎ 53 - 3000

人の動き

2019 年 8 月 1 日現在

※（）内の数字は前月比



総人口
3,174 人
（－2 人）



男性
1,566 人
（－1 人）



女性
1,608 人
（－1 人）



世帯数
1,335 世帯
（－1 世帯）